

将来の佐伯市にとって生活の基盤である経済振興対策が今取り組むべき官民最大の課題です！

起業・出店 再チャレンジ etc  
スタートアップ支援事業  
産業創出・経済振興の拠点創成



2022年9月19日 高橋 撮影

佐伯市産業活性化プラザ(仮称)

佐伯市には産業・経済振興を促進する交流空間が必要

旧三余館のインキュベート施設(スタートアップ支援センター)としての利用の提案

勤労者総合福祉センター 三余館 1988年 延べ床面積1,482平方m(約450坪/約895畳)

本来、中小企業に働く勤労者の福祉の充実を図り、  
「雇用の促進と産業の振興」に資するため作られたものなので、  
施設や設備はインキュベート施設に最適な条件が既に整っている

佐伯市中心市街地活性化基本計画を歪め機能不全の元凶となった歴史資料館建設計画。  
その付帯施設扱いにより「三余館は使用できない」が大手前再開発事業にも影響を与えたが結果的に方便となった。  
旧三余館を有効活用してこのねじれを補完する事が合理的発想である根拠です。



交流 展示スペース

1F 身障者化粧室

市営駐車場の三余館・歴史資料館側 に出店スペース(佐伯の特産品・土産など)と観光案内所を作る  
現在、車で直付けできる場所に観光案内所他が存在していないので。 周辺施設への誘導に繋げる



1F 多目的室

オフィスブース / 出店スペース



1F ホール

不足するスペースを補完する為に利用

10 ブース 会社登記も可能な仕切られたスペース

5,000円/月

**企業がDXに取り組むべき3つの理由**

- 市場での競争優位性を獲得できる
- 既存ITシステム刷新で生産性を高められる
- 変化する消費者ニーズに対応できる

ネット環境整備・パソコンやタブレット整備  
画像編集・動画編集が可能な PC、パソコン  
操作(習得の為の講師やセミナーの開催)

映像配信ブース・写真撮影ブースを設置  
する(習得の為の講師やセミナーの  
開催)SNSによる映像配信、Zoom 会議  
やセミナー開催を支援する為に空間と照明・配信機材他を完備



1F 創作室

セミナー / 勉強会 / 展示商談



1F 和室 (城山・番匠)

商談 / 交流 / フリースペース



2F 大会議室

セミナー / 勉強会 / 展示商談



2F 特別会議室

入居スペース

4~5 室  
15,000 円/月

※赤字が入居・出店スペース (チャレンジショップ) 利用提案

商・工・農・水・林 etc 産業ジャンル問わず

青字は入居者・部外者も、商談・セミナー・展示 etc に使える共用スペース

キャパ 個人 法人問わず 20 社 低料金で利用でき、かつ会社登記もできる

入居審査はできるだけ緩和した条件にして、年齢・性別問わずチャレンジできる

入居期間 最大 3 年 以降延長も可能

出店ブース 物販が主流になるが、物品販売、サービス業など新チャレンジ・再チャレンジが

誰でも即可能なスペースを提供する ※第 6 次産業促進の面でも産業間の交流が必要

スペースが足りない場合は、セミナールーム、交流スペースを確保しながら大ホールの一角を

レンタルできるスペースにカスタマイズする事を検討する + 市営駐車場の一角に増設

障がい者の雇用促進対応や生產品の販売も組み込む

<機能>

インキュベート、出店スペースをサポートする各組織の窓口機能設置

大分県よろず支援拠点 佐伯支所の窓口設置/

商工振興課/佐伯市商工会議所/あまべ・番匠各商工会 etc の支援サポートの窓口機能

商工振興、地域振興に益する PR 活動、イベントにも活用

観光案内 / 移住・定住 / 子育て、介護 etc 市民のよろず相談窓口設置

現在の「文化芸術振興の利用」と余地が残れば、要望の多い「従来の利用」も可能な運用を

再開する ※それぞれの振興に相乗効果が期待できる。

